

年度:2020年 LOM番号:342

【褒賞申請書】

事業名称	2020年度2月例会 SDGs に学ぶ理解と実践～SDGsスタートアップ&実践セミナー～
カテゴリー	最優秀LOM地域社会向上プログラム

申請LOM	東北地区山形ブロック酒田青年会議所
LOMの人数	73名
理事長名	佐藤 愛
担当者名	齋藤 儀久
担当者携帯番号	09067813477 担当者Mail technicalart0215@gmail.com
事務局住所	山形県酒田市緑町19-25
事務局TEL	0234249192 事務局FAX 0234228438

本事業の参加者	会員数	47名
	関係者数	4名
	一般参加者数	6組の組織及び団体 7名
事業実施に至る背景 400文字程度	持続可能な社会に向け各地で取り組みが活発化していますが、SDGsの認知度は2割～3割前後とまだまだ低い状態です。さらに、取り組みの浸透に関しては世界と比べその差に危機感を覚えます。SDGsの意識と目標達成に向けた取り組みは、企業としては経営リスク回避や新たなビジネスチャンスなど必須事項です。当会議所は青年経済人として、その価値を理解及び実践し、発展し続ける企業として、持続可能な地域に向け発信するリーダーとして、推進していく必要があります。	
事業目的 400文字程度	対外目的 地域に広く発信していく中で、他団体も一緒に推進していくことで効果的な波及効果を追求していくため、協力依頼をします。協力依頼団体にも例会に参加していただくことで、SDGsの共通理解と意識喚起を促します。	

	<p>対内目的:</p> <p>① SDGsに取り組む意義や視点、価値を全会員に理解していただきます。</p> <p>② 各々の企業として実践出来るように、具体的な提案をします。</p> <p>③ 当会議所が地域に発信・推進するための組織として、会員の意識を喚起します。</p> <p>④ 他団体などとの共通認識として、協働に向けた関係構築の機会とします。</p>
SDGsの該当項目	<p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう。</p>

<p>事業概要</p> <p>400文字程度</p>	<p>2020年度2月例会</p> <p>【SDGs に学ぶ理解と実践～SDGsスタートアップ&実践セミナー～】</p> <p>◆例会当日内容</p> <p>第一部</p> <p>講師:株式会社ライトウェイ 代表取締役 柳沼 綾 氏 (公益社団法人日本青年会議所 公認アンバサダー)</p> <p>演題:「SDGsスタートアップ&実践セミナー」</p> <p>SDGsの理解を深めるとともに、自身の組織や団体、企業で実践するためのポイントを講演。</p> <p>第二部</p> <p>担当委員会発表 SDGs推進委員会</p> <p>SDGsの視点導入の必要性をその裏付けなどをデータと事前意識調査も絡め発表。また、既に SDGsの視点を取り入れている地域の企業を紹介し参加者の意識を高めた。さらに、実践と発信をしやすいためテンプレートを作成し提案。(例会後配信)</p> <p>講師は日本青年会議所へ連絡し、公認アンバサダーへ繋いでいただきました。</p> <p>他の組織や団体とも共通理解として学習することで、地域への波及効果を高めました。</p>
<p>開催期間・ タイムスケジュール</p>	<p>2020年2月26日(水) 19:00～21:00</p> <p>19:00～19:20 例会 開会セレモニー</p> <p>19:20～ 第1部</p> <p>『SDGs スタートアップ&実践セミナー』</p>

	<p>20:20～第2部 委員会発表 『地域で一番SDGsを推進する団体となるために』</p> <p>20:45～閉会セレモニー 21:00終了</p>	
開催場所	会場:酒田市浜田学区コミュニティ防災センター	
事業区分		
公益・共益区分	共益	
事業総予算・収支	<p>予算計:56,000円 決算額:52,400円 会場費:5,280円 講師関係費:47,120円 支出計:52,400円</p>	
協力団体	共催	
	協賛	
	後援	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田市企画調整課 ・遊佐町長 ・庄内総合支庁 経済産業部 ・酒田商工会議所青年部 ・酒田商工会議所女性部 ・酒田商工会議所女性部 ・酒田商工会議所女性部 ・酒田市青少年を伸ばそう市民会議 <p>当日参加できなかった組織及び団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田市社会福祉協議会 ・酒田市産業振興センター サンロク
事業対象者	LOMメンバー、行政はじめ組織及び団体	
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	<p>◆例会準備プロセス</p> <p>○担当委員会メンバーでSDGs学習会(セミナー)への参加 主催:酒田市産業振興まちづくりセンター サンロク 演題:「酒田のSDGsを学ぼう、語ろう。～私たちは未来の子供たちに胸を張れるか?」</p> <p>担当委員会メンバー11名中、10名が参加し理解を深めるとともに、主催者や酒田市産業振興課の方とも意見交換を行いました。</p> <p>○公開委員会にて、LOMメンバーへの事前学習会の開催。 講師:第52代歴代理事長 後藤守先輩 演題:「JCとSDGsの歴史(歩み)」</p> <p>LOMメンバー21名が参加し、SDGsについての視点とJCとしての歩みを</p>	

	<p>理解しながら、グループワークにて今後の活動についても話合いました。</p> <p>○各方面の行政や組織、団体に例会の趣旨を説明しながら直接参加推進。</p> <p>自治体含め、さまざまな組織や団体が意識し始めている状況の中、なかなか学習の機会がなかったこともあり、地域全体で理解することや同じベクトルで持続可能な地域への行動が必要だという認識を持っていただきました。</p> <p>○LOMメンバーに対し、SDGsについて事前の意識調査実施。</p> <p>アンケートにて現状の認識や実践をしているかどうかの実態調査を実施しました。</p> <p>* 調査結果(主要部まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの認知度 70%が「よく分からない」 ・SDGsについての関心度 98%が「関心あり」 ・関心がある内容は 80%が「ビジネス」 ・既に取り組んでいる 16% <p>○SDGs推進テンプレートの作成</p> <p>委員会メンバーで、SDGsについての理解が深まる中、いかに発信していくか、いかにその取り組みを見せていくか、という課題が挙がり、誰もが簡単に発信できるようなテンプレートを作成し例会時に提案し、後日 LOM メンバーへ配信をしました。</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <p>1. 目的がどのくらい達成できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にある行政や組織、団体から例会に参加し、SDGsの共通理解と意識喚起を行うことができました。 ・今後、持続可能な地域への取り組みとして協力体制を取らせてほしいとお話いただきました。 ・LOMメンバーの理解と実践について、例会後アンケートから下記のような結果が得られました。 <p>→「理解を深められた」「SDGsへ取り組む必要性がある」と回答 90%</p> <p>→発信することの必要性について「必要と感じた」と回答 95%</p>
	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>外部組織及び団体の例会参加は、SDGsの理解と実践にむけた学習の機会、意識喚起、だけでなく、地域全体で持続可能な取り組みを行う必要性について、インセンティブ効果が得られました。</p>

<p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業後の取り組みは取材をさせてほしいと別の若者から青年会議所へ問い合わせがありました。今までこのような問い合わせしてくるなどありませんでしたが、興味を示し自ら行動に移してくる若者ができました。また人口減少を若者とともに解決していこうと市の方から補助金をいただき事業化になりました。今の地域問題点にJCが歩み寄ったことで大きな展開へと変化しています。</p>
<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>今まで単年度制ということもあり新規事業は継続性がなく単発事業で終着していました。今回の事業を通じて青年会議所活動から収益事業へ発展したことやSDGsの目標に向けた一歩を行動に示すことで、メンバーの士気や視点に大きな広がりがあります。また関わりなかった行政との部署と連携したことでマッチングの幅が広がり、ブランディング向上につながりました。今年はSDGsを更に推進することを当時担当副委員長が委員長となって継続活動しています。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が期待される長期的な影響を記入)</p> <p>現在の酒田市は10万人です。10年の間で7万人まで減少する予測となっています。人口減少を食い止めるために様々な施策を打っていますが、なかなか難しい現状です。私たちは未来を想定し7万人になっても継続可能なまちづくりを描いています。子育て中の女性も若者も住みやすい地域に。人財不足からくる地域企業の事業拡大への躊躇。悪循環を好循環にする地域の新たな形。地域では初めての事業ということもあり説明会で多くの方が参加しました。住み暮らす方々が共感され、広く発信していくべきだと参加者から声を頂きました。Active citizen が期待されます。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>地域の方々の JC のイメージは継続事業(まつり・花火など)のイメージが非常に強く、紡いできた歴史がLOMアイデンティティを構築しています。しかし会員減少につれ JC だけのマンパワーでは難しくなっています。今後継続して行くためにも今、力を入れている行政の問題や今悩んでいる一般の方の声にも耳を傾け寄り添った形で協働し、事業構築していくことが青年会議所活動に巻き込むきっかけになると思います。</p>
<p>改善点</p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>本来のセミナーが時間の関係で凝縮させての構成だったこともあり、エッセンスの部分に絞った形になりました。</p> <p>今回の内容(ボリューム)と理解度や実践への取り組みを考慮し、もっと例会全体の時間を取るべきでした。</p>

JCI活動計画の推進 JCI VISION活動計画の推進 JCI MISSION活動計画の推進	(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入) ・行政、各他団体との関わり ・LOMメンバーと各他団体のSDGsに対する意識の向上
添付資料 PDF資料2MB、5ページ以内	(事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)

2020年度2月例会

「SDGs に学ぶ理解と実践 ～SDGsスタートアップ&実践セミナー～」

一般社団法人酒田青年会議所は2020年2月26日水曜日に「2020年度2月例会」を酒田市浜田学区コミュニティ防災センターにて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この2020年度2月例会はSDGsの理解と実践、地域へ広く波及させることを目的として開催されました。

2020年度2月例会

SDGs に学ぶ理解と実践

～SDGsスタートアップ&実践セミナー～

期日：2020年02月26日(水)

会場：酒田市浜田学区コミュニティ防災センター

◆事業内容

個人はもちろん、企業や組織としても重要な視点となる持続可能な社会に向けて、日本青年会議所公認アンバサダーでもある、株式会社ライトウェイ代表取締役の柳沼綾氏よりご講演をいただきました。また、担当のSDGs推進委員会からは地域でSDGsを実践している企業の情報を紹介しながら、参加者が実践とその発信に繋がられる発表(SDGs発信用テンプレート作成)を行いました。

地域の中でも注目されているテーマであり、多くの行政や団体、組織の方々からもご参加いただきました。また、今後の活動について連携含め協力体制を構築することができました。



(当日参加組織・団体)

- ・酒田市企画調整課
- ・遊佐町長
- ・庄内総合支庁 経済産業部
- ・酒田商工会議所青年部
- ・酒田商工会議所女性部
- ・酒田商工会議所女性部
- ・酒田市青少年を伸ばそう市民会議

(当日急遽参加できなかった組織及び団体)

- ・酒田市社会福祉協議会
- ・酒田市産業振興センター サンロク



公開委員会





